

令和 3 年

亀山市教育委員会第 7 回臨時会会議録

## 亀山市教育委員会第7回臨時会会議録

### 1. 日 時

令和3年11月9日（火）午後3時30分開会

### 2. 場 所

亀山市役所本庁舎3階 理事者控室

### 3. 出席委員

教育長	服 部 裕
1番委員	大 萱 宗 靖
2番委員	吉 岡 洋 子
3番委員	宮 村 由 久
4番委員	若 林 喜美代

### 4. 欠席委員

なし

### 5. 議事参与者

教育部長	亀 山 隆
教育総務課長（以下総務課長という。）	岡 安 賢 二
学校教育課長（以下学校課長という。）	宇 野 勉
参事（兼）生涯学習課長（以下参事生課長という。）	桜 井 伸 仁
副参事（図書館整備担当）（以下図書副参事という。）	小 坂 博 文
図書館長	井 上 香代子
学校教育課主幹兼学事教職員グループリーダー（以下学事GLという）	加 藤 尚 大
学校教育課主幹兼教育研究グループリーダー（以下教研GLという）	武 居 政 敏
学校教育課主幹兼教育支援グループリーダー（以下教支GLという）	前 田 亜 弓
生涯学習課主幹（兼）社会教育グループリーダー（以下生社GLという。）	高 重 京 子
教育総務課主幹（兼）保健給食グループリーダー（以下保健GLという。）	渡 邊 尚 也
教育総務課主任主査（兼）教育総務グループリーダー（書記）（以下総務GLという。）	中 野 貴 晶
教育総務課教育総務グループ主任主査	早 川 美 紀

## 6. 会議録署名者指名

1 番委員（大 萱 宗 靖 委員）

2 番委員（吉 岡 洋 子 委員）

## 7. 議事

教育長 議案第54号「令和3年12月亀山市議会定例会教育行政現況報告について」説明を求める。

教育部長 令和3年12月亀山市議会定例会に提出する教育行政現況報告を別冊のとおり策定することについて、委員会の議決を求めるものです。

（総務GL：令和3年12月亀山市議会定例会教育行政現況報告事務局朗読）

吉岡委員 4ページの英語教育で5及び6年生が市の作成した「英語チャレンジ」を、中2及び中3年生が「GTEC」を実施となっているが、中2及び中3年生が市の作成したテストを使用しないのは何故か。高校入試、大学入試に向けての下積みに関して通じるものであるのか。

教支GL まず、外部試験を活用している中学2及び3年生ですが、「書く」「読む」「聞く」「話す」の4技能が必要となります。市独自のテストにおいては、「話す」「聞く」を行うことが難しい部分があり、「GTEC」を活用することにより、中3の卒業時に必要な能力がどこまで定着しているかについて、市内だけではなく、全国で同じように試験を受けている生徒と能力が図れることとなっています。小学校においても外部試験の導入を検討しているところです。

吉岡委員 試験の費用はどのようになっているのか。

教支GL 全て市で負担しています。

吉岡委員 英検についても自治レベルで対応しているところもある中で、現在は「GTEC」の方がより先進的であることを耳にした。今後に期待したい。

教育長 英検は級の合格不合格が発生してしまう。一方、「GTEC」や「TOEIC」は点数で結果が出るものであり、民間で結果の出し方が異なっている中で、公費で児童生徒全員に活用するとい

う観点を考えると、可否の出るものではなく点数で出るものの方が望ましいと導入時に判断した。

若林委員

1点目、3ページの「フリースペース・かめっこ」について、「市の適応指導教室と連携して」とあり非常にいいことだと考えるが、具体的にどのように連携しているのか。通級の申込みがあったということだが、市の適応指導教室と同様の申込みがあったという位置付けで考えたらいいのか。

2点目、4ページに「「全国学力状況調査」等の結果をもとに市内児童生徒の状況分析を進める」とあり、中学校の3学期の定期試験に英語科と国語科の共通テストを行うとのことだが、他の教科へも広げていく予定があるのか。

3点目、同じく4ページの「市内中学校の入学者が見込みより多い」「年度途中の転入児童生徒も多かった」とあるが、市内転入者について、どれぐらいの人数の転入があるのか。

教研GL

フリースペース・かめっこは、9月から開設し10月1日現在で8名の申し込みがあります。手続きについては、市の適応指導教室と同様であり、教育委員会がフリースペース・かめっこへの通級を認める形となっています。連携については、今年度から適応指導教室の会計年度任用職員を1名増員していますが、週1～3回程度職員がフリースペース・かめっこへ出向き、情報交換を行うとともに、学校教育課職員についても、2週間に1度出向いて運営管理者と情報交換をしています。また、適応指導教室と同様に月末には1か月の出席状況や子どもの様子等も報告をいただいております、随時連携を行っています。

教支GL

共通テストについて、現在のところ英語と国語の2教科となっていますが、今後につきましては、3学期に英語と国語のテストを実施した後に、それぞれの研修主任や教科担当とテストの成果と課題を話し合い、来年度の実施の方向性について決めていきたいと考えています。

学事GL

転入状況については、端末貸し出し状況により38台の不足があります。

教育長

不足の38台分については、補正を行うのか。

教研GL

来年度の4月に向けて38台の不足が見込まれるという試算であり、今後の転入者もあり得ることから、予備も含めまして50

台分の補正を行う予定です。

学校課長 補足ですが、例年小学校から中学校に進学するにあたり、1割程度の子どもが私立中学校へ進学いたしますが、本年度につきましては、進学率は8%程度であり、例年よりも10人以上私立への進学が少なかったという現状があります。この人数についても影響を及ぼしていると考えています。

教育長 共通テストについて、実力テストのようなものと認識されているかもしれないが、あくまで定期試験のことであり、いわゆる期末テストのことである。各中学校でそれぞれが作成するものではなく、指導主事も入って市として3校共通のものを作成しているということである。

若林委員 働き方改革の一環であるのか。

教育長 その部分もあるが、基本的には学力向上が目的である。3中学校のテスト内容を確認したところ、テスト内容に開きがあったことから、共通して学期末の目標に照らし合わせたテストが実施できるように行っている。先生方にとっても指導主事が入ることにより、テスト作りの研修の機会にもなると考えている。教科については、例えば数学は、ある程度このラインまで学習が出来ているということは把握しやすい一方で、国語や英語は難しいこともあり、共通テストの科目を決定した。

教支GL 共通テストの科目を国語と英語に決定したのは、それらの科目について課題がある事に加え、学習指導要領が今年度の4月から改定され、知識・技能は今までどおり評価しやすい一方で、思考判断・表現については、学校においてテストの作成や評価が難しいことが理由としてあります。

教育長 補足であるが、共通テスト実施にはテスト日を揃える必要があるため、スケジュール関係上、2学期からの実施とはならず3学期から始め、本格的には来年度から実施することとしている。

宮村委員 この教育行政現況報告を行うのはいつか。

教育部長 11月26日です。

宮村委員 2ページの小学校の修学旅行について記述があるが、まだ実施されていない学校があるのか。

学校課長 12月予定の学校があるため、このような記述となっています。

宮村委員 中学校の記載がないのはどうしてか。

学校課長 中学校は全て1学期に終了しています。

宮村委員 川崎小学校の合唱について、銅賞が決定したが、その記載は行わないのか。通例はどのような感じであるのか。

教育長 例えばNHK合唱校コンクールの場合、何校も出場があり銅賞にも入らない学校があるが、この大会ではどうか。

学校課長 全ての学校が金銀銅同じ割合程度で受賞されます。また、特別賞もあります。

教支GL 埼玉県知事賞や所沢市長賞など4つが特別賞としてあります。

教育長 過去、亀山西小学校がNHK合唱校コンクールで金賞を受賞した時は記載した。今回については、銅賞であるが、全国大会での銅賞は凄いことであるとは認識している。

宮村委員 必要あれば、修正いただきたい。同様に予算の関係であるが、本日の資料にて11月の補正予算の概要の資料があるが、11月開催の市議会臨時会分の提案であるのか。

教育部長 新型コロナウイルス感染症にかかる総合対策パッケージの案件であり、11月の市議会臨時会に補正として提案するものです。

宮村委員 その内容を踏まえて、4ページの「フィルタリングソフトの導入を進めているところであります。」という記述は問題ないと考えますが、次の「端末購入費に係る予算補正を本議会に提案」という記述はどういうことか。

教育部長 端末の追加補正については、市議会12月定例会の補正予算案件です。

大萱委員 1点目、全国的に令和2年度は不登校児童が多かったとのことで亀山市でも中学校で増加傾向にあるということであるが、全国に比べて亀山市が不登校の増加率がどの程度であるのか。

2点目、フィルタリングソフトの導入について第6波を見据えているとあるが、想定しているスケジュール内に導入を終える見込みとなっているのか。また、セキュリティや漏洩防止も必要であるが、この導入によってオンライン授業も同様に行っていけるものであるのか。

教研GL 不登校児童数については、全国と同様に右肩上がりとなっています。不登校児童生徒は1,000人当たりの出現率で比較を行います。亀山市では、全国と比べても高い傾向にあります。

フィルタリングソフトについては、11月の市議会臨時会にて

可決いただければ速やかに契約手続きに入り、3学期からフィルタリングソフトを導入した端末の全員持ち帰りが実施できるという方向で進める予定です。結果、オンライン授業については、3学期から安全安心な環境で実施できる見込みであり、教職員への研修についても2学期中に計画をし、実施していく予定です。

大萱委員 3学期から可能という認識でいいのか。授業中に受け答えが出来るようになっていくのか。

教育長 教職員の人数が増える訳ではないので、一斉授業を行う際は、オンライン授業は2学期のように実施できるが、1人1人丁寧に個別の対応ができるかといえ、時間やスタッフの限りがあるため、難しいかと考えてる。ただ、今までは家庭にある端末を基本に使用し、どうしても困難な方は誓約書等を書いていただき端末を貸し出していた状況に対して、3学期からは児童生徒全員が第6波が来なくても一人一台端末を持ち帰ることが出来る状況となるということである。

大萱委員 オンライン授業においても、児童生徒全員の顔が見れて、それぞれと受け答えできる環境を望む。そうなると集中力もあがり、より緊張感を持った授業も行えると考える。

教支GL 9月のオンライン授業についても実施していましたが、委員ご指摘のような授業形態を行うことは可能ですし、そのための研修も行っています。

教育長 ご指摘いただいた箇所の修正を含め、私に一任いただくことでよろしいか。

(全委員異議なし)

(議案第54号については可決される。)

## 8. 報告事項

教育長 報告事項1「市内小中学校における令和3年度上半期いじめ・不登校に関する事案について」説明を求める。

学校課長 (資料に基づき説明)

宮村委員 1点目、いじめについて、SNS関連の事案が増加し対応が急務との記載があり、原因分析を行っていると考えますが、SNSに対する有効な手立てがあれば教えていただきたい。5ページに各学校や教育委員会の取組がSNSに限らず記載されているが、い

じめに対する学校現場や教育委員会の取組と認識したが、SNSを持つという中でどのような有効な手立てを考えているのか。

2点目、不登校児童生徒への支援について、不登校解消の結果だけでなく、児童生徒が主体的に捉えて社会的に自立することが支援と考えるが、この部分についてのフォローの仕方や評価はどのように行っているのか。例えば小中連携は可能であるが、中高連携となった時に自立に対するフォローはどのように行っているのか。

教研GL

1点目について、月に1回情報教育担当者向けの研修を行っており、その中で、情報モラル教育に関して学校へ取組依頼を行っています。委員ご指摘のとおり、携帯電話やスマートフォンの扱い方について、市での取組、または学校単位での取組をもう少し強く促す必要があると考えています。そういった意味では、教育委員会の取組として、経験の浅い教職員に対して、SNSだけに限らず全体のいじめ問題に関わる研修会等の中でこのような取組を含めて実施しています。

2点目について、小中学校の場合は、学校の中で見ていくこととなりますが、卒業後の進路につきましては、児童生徒の状況にもよりますが、福祉や家庭との連携、青少年研修センター指導員との連携を行いながら、卒業後の見取りを行っています。また、本人については自ら目標を決めて何を頑張るのか、スモールステップでの主体的な取組を促しています。

宮村委員

今の時代では、SNSが身近なものになってきているため、学校の中でも対策等についてウェイトを占めていく必要があると考える。そのような機会を学校でも作っていただきたい。

若林委員

不登校について中学生が増えているとのことだが、コロナ禍でオンライン学習が進むいい面がある一方で、外へ出にくくなって不登校になる傾向がある等課題も増えていることを認識させていただいた。その中で、適応指導教室やかめっこの様子をみると、小学校低学年は0人とのことであり、小学校高学年から中学生に偏りがみられる。これは、早くから不登校にさせないという意味で、何か取組の成果が現れているものか、若しくはなかなか通級に繋がっていないということか、どのような捉えているのか。

また、5ページの教育委員会の取組として4月と11月をいじ

め防止月間に設定しているとあるため、各学校の取組についても、4月だけではなく、11月も含めた方がいいと考える。

教研GL 小学校の不登校児童は、5年生以上が多い現状があります。小学校低学年については繋げるところまでは至っていませんが、これは、不登校ではなく不登校気味ですので、学校で対応でき適応指導教室に行く必要がないという判断を行っています。

教育長 外国人児童生徒が不登校になっている傾向があるのか。

教研GL 今年度の状況として、上半期で小学校15名の内外国人児童生徒は0名、中学校49名のうち1名です。

## 9. その他

市議会臨時会へ提出予定の補正予算概要について説明  
(教育部長、総務課長、学校課長詳細説明)

## 10. 閉会

午後4時45分

以上会議の顛末を記録し、下記のとおり署名する。

教育長

1 番委員

2 番委員